

第74回 小中高校生の吃音のつどい(お料理教室)

3月19日(日)小学生19人、中学生10人、高校生12人、兄弟姉妹3人、ご両親27人、スタッフ45人の計116名が参加。江東区立南陽小学校ことばの教室及び家庭科室にて開催。麻婆豆腐丼と餃子を小学生から高校生達とスタッフで。そして午後のデザート イチゴどら焼きをお母さん方で作っていただきました。午後の話し合いは高校生グループを担当しました。吃音説明書を書くことは、高校生にとってもスタッフにとっても、自分の経験や思いをアウトプットする良い機会になったと思います。普段そのような機会はあまり多くないでしょうから。みんなの説明書の内容は共通している点もあれば異なる点もあり、同じ悩みを抱えていても個々で違うところもあるということ、鮮明に理解できました。南陽小ことばの教室の瀧田智子先生、つどい前準備そして当日丸一日のご協力感謝しております。ことばの教室卒業生は当つどいに多く見えます。卒業後のケア・フォローを我々が責任もって見えています。有機的な相互協力をつちかっけていきたいものです。江東区教育委員会も後援くださいました。

(リーダー 浮田美佳、徳永成和、榊原慶二、中軍友希)

K. M君(高1、浦安市ことばの教室卒)

今日最後の、一人一言の時に言った言葉を書きます。今の小学生は吃音のことをみんなの前でカミングアウトできて本当にすごいと、ぼくは小中学校の時はなかなかカミングアウトできなくて、高校に入ってからやっと言えました。だから小学生のみんなは中学校、高校とまたいろんな人と出会うけど、その気持ちを忘れず、がんばってください！ 本当にいつもいつも思うのですが、自分は一人じゃないんだな、と思い勇気をもらいました！！次回も参加できると思うのでその時はまたよろしくお願いします！！

S. Kさん(高3)

スタッフミーティングの静けさとは打って変わって、年齢問わず色々な人が個性を発揮してみんなで団結して料理を完成させたり、自分以外の吃音当事者が、吃音に対してどう思ってるのかがすごく新鮮に感じ取れて、「それ分かる！」「そんなことも思ったりするんだ」など、共感するものもあれば初めて見聞きするものもあって、改めて「吃音とは」何なのだろう、と考えさせられました。話し合いでも、ここでしか言えないことなど沢山打ち明けられてとても快感でした。

A. K君(高2、世田谷区ことばの教室卒)

↓日本語訳 スタッフ 浮田美佳

はじめに、私の小学校の先生について話をします。その先生は生徒それぞれにとってもまっすぐ向き合う人です。私は先生のそのまっすぐな心に救われました。

まず、私は話すことに不自由があります。つまり、喋るのに苦労することが時々あるのです。そのせいで学校で辛い日々を過ごしていました。スピーチする時や普段話す時、みんなが私を笑います。だから私は、「ああ、私はうまく話すことができない」、「私はダメなんだ」と思い、人前で話す自信を持てなくなりました。

ある日、その先生が私と話す機会を作ってくれました。そこで私達は、私の吃音のことについてクラスメイトに話すことを決めました。その結果、何も起こりませんでした。ほとんどの人は何も変わりませんでした。しかし、変わった友達が2人だけいました。たった2人です。私のクラスには40人います。みんなは以前と変わらず笑っていました。しかし私の気持ちは変わりました。なぜなら、「私はもう独りじゃない」と分かったからです。2人というのはあまり多くはなく、実際本当に少ない人数です。しかしたった2人変わってくれただけでも、私が安心するには十分でした。

ところで、人にはみな個性があります。例えば、背が高い人もいれば低い人もいます。また、太っている人もいれば痩せている人もいます。私の個性はこの一風変わった髪の毛かもしれません(笑い)。

多くの人は、不自由なことがあるのは欠点だと思っています。しかし、私はそうは思いません。不自由なところも個性なのです。どうして不自由だと弱いということになるのでしょうか？その原因は本人にあります。本人が「私は弱い」、「私はあまり出来のいい人間ではない」と思えば、それは弱点だということになります。逆に、「実際私はうまく話すことができない。考えることも聞くことも、運動もできるのに。そして私は絵を描いたりダンスをすることはできなくて、話すのは苦手だ」と考えることもできます。それらはみな同じことだと思うのです。

私は将来、自分と同じ状況にある人達を助けたいと思っています。その人達と話をし、私にとって大きな2つの出来事について伝えたいです。それは役に立つと信じています。1つ目は、「自分自身のことを考える」ということです。「自分は何ができて、何ができなくて、何をしたいか、何をしたくないのか」というのを知っておくのです。自分が何者なのか分かれば、次のステップに進むことができます。2つ目は、「心を開いて、自分の状況を他の人と共有する」ということです。心を閉ざしてしまうと、その人が何を考えているか誰も分かりません。心を開けば、みんな状況を理解してくれます。以前と変わらない人もいるかもしれませんが、変わってくれる人もいます。私の場合、変わってくれたのはたった2人でした。ほんの少しの人だけです。しかし、そのおかげで私はとても気が楽になりました。小学生の時は、自分を理解し受け入れてくれる人が本当に必要でした。そして2人、そのような人に出会うことができました。

私はあなた達にもそのような人になって欲しいです。悲観的あるいは自信の無い人を見つけたら、その人の「いい友達」になったり、その人がして欲しいことや自分に何ができるかを尋ねてください。それが、不自由のある人や悲観的になっている人には大いに助けになるのです。ご清聴ありがとうございました。

Hi my name is Aijiro . ↓高2でカナダ語留学中、San Francisco での学生スピーチで3位入賞' Self Innovation'

As the introduce, I want to talk about my elementally school teacher. She had very straight mind to each of students. I was saved by her straight mind.

First of all I have a speech disorder. That mean sometimes I have difficulty to say something. Because of that I had very difficult time in school. When I had speech or daily life, everyone laughed me. That was why I thought "Oh, I cannot do this", "I am not good". I could not have enough confidence to speak in front of people.

One day, my teacher gave me a chance to talk with her. Then we decided to talk about myself (Stuttering) in front of my classmate. As the result, nothing happened. Nothing happened to almost people. Just 2 of my friends had changed. Just 2. My class had 40 people. Everyone still laughed. However my feeling had changed. Because I understood "I am not alone any more". 2 persons. Those are not many people, actually that is really few amount of people. But 2 persons are enough number to be happy to me.

By the way, everyone has personality. For example, someone is tall. Someone is short, fat or skinny. My personality may be my strange hair (Laughed). Many people think disorder is poor thing to have. But I do not think so. I think disorder is their personality. So, how disorder makes poor? That is himself. If they think "I am poor", "I am not good enough". That is poor. If you think "In fact, I have difficulty to speak, however I can think, I can listen, I can do sports. And I cannot draw a picture, I cannot dance, and I am not good at speaking. I think it is the same thing.

In the future, I want to help people who had the same situation as me. Then I want to talk with them, and I want to tell 2 big events to me. I believe that will help to them.

1st thing is "Think about my self". I can do this, Cannot do this, I want to do this, I do not want to do this. If you know who you are, you can go next step.

2nd one is "Open your mind and share your situation to others". If I close my mind, no one can understand what I think. If I open my mind, everyone can understand my situation. Anyone may not change, but some of them may change. In my case that was just 2 persons. Those are few persons. But that makes much better feeling. When I was an elementary school student, I really needed person who understand and accept me. And I got 2 persons.

I want to ask you guys to be that kind of person. If you find someone who is negative or do not have confidence to himself. I want you to be "good friend" to them or ask what you need or what can I do for you. That is very helpful to person who has disorder or negative person. Thank you.

A. Yさん(中2、横浜市ことばの教室卒) 作1 “思い切って相談しよう…?”



金野 加慧(スタッフ)

ドモラーマですが、いいですね 笑ってしまいました。わりと弱いなところですが、確かにそうかもしれ
ません。どもっても喋るし。っていいですね。人の評価を気にせず、自分の意志を一番に考えることは大
事だなあ。としみじみ思いました。これは吃音に限らず、生きることに全てに関連するなあ。と思いました()
勇気付けられます。ありがとうございます() (⇒次ページの“ドモラーマ現る”に対して)

A. Yさん 作2 “ドモラーマ 現る!”

ドモラーマを
おしほいと
おれれた
のて



出します。

↓

たて、髪は
元にしただけ
自分の髪
だし、
性格は
わりと勝手に
素直です。



↓

で、自分の
理想が
自由だし
ネガバ
な、たの
しい。



↓

というわけで
ドモラーマを
描いた
高山燕一さん。
ドモラーマカバ
イメージ違っても
許してください。



↓

いや、イメージ
あまり違
って、イ
メージす
て、



ドモラーマをどう描くか
悩むのた。この4コマは
練習に使う。

他人が描いた
キャラだから
イセーに
かけない。



もうちょっと
かみい
した
おじさん体の
境目が謎



肩の位置か
謎
やる気なところ



顔が謎
手も、足も
やっぱ太すぎ。



おつ
描けぬえ。



もっとまし
描けぬえ。



こんな感じにします。(多分)



ぬのさな。
イコとうじゃん。



おれまさん。

ハハハハ
どうせ
やるー。



え、ごみがどうせやるの?
じゃーなんで毎々うとモ
出ないのかしら
教えて!!



あとなんたりラックスしてると
出るのかしら。
なんで人によって違うのかしら。
どまり方変わるのよ。
何でなのかしら。



知らね
りあえず
どうせ
から。



知らないのかよ。



関口 聡美(小学生 G スタッフ)

、国立リハビリテーションセンター学院言語聴覚学科 2 年)

この前デイサービスに行きまして、88 歳のおばあちゃんがこんなことを言っていました。小さい頃、私は背が低いのに手が大きいってということがとても嫌だった。男の子にもそのことでいじめられて…。でも、お母さんから「その手でたくさんの幸せを掴めるね」と言われて、自分の手が大好きになった。それから素敵な旦那さんと出会って幸せな生活を送らせてもらったよと。手が大きいことを自慢する人もいれば、苦勞する人もいます。体が細いことを羨ましいと思う人もいれば悩む人もいます。吃音で同じ悩みを持っている、悩みに対する気持ちは人それぞれです。「わたしのドモラーマ」も人それぞれです。

人それぞれ受け取り方は違うし、悩みを聞いてもらうことで何か違った考え方が生まれるかもしれません。山内さんは漫画で吃音への気持ちを表出してくれました。私だけじゃないんだと救われた人が必ずいます。気持ちを外に出すことで、共感した人から気持ちや考え方を知って、共感したり学んだりしながら、自分の受け取り方を変えていく場が吃音のつどいなのだと思います。

最後に、Yさんの漫画とても上手だなと思いました。顔の表情だけではなく、人間の大きさでも感情を表しているところがあってすごいなと思いました。ぜひ続きも楽しみにしています。

F. Tさん

(ことばの教室小学生男子のお母さん)

3月のつどいでは親子でお世話になりました。息子がつくった「ドモラーマ」を4コマ漫画にしてくださってありがとうございます。Yさんにもありがとうございます。息子に感想を聞いたところ、「おもしろかったです。新しいお話を期待しています」と伝えて下さいとのことでした。「ドモラーマ」が漫画になったことはいいと思ったそうです。

A. Yさん 作3 “吃音なぞかけ”

つどいで「吃音なぞかけ」というアイデア(?)も出たよ!

「吃音なぞかけ」?

「吃音」とかかまして「視力のせ上様」とします
その心は? 「視」が多い、みたいな、

「吃音」とかかまして「壊れかけのうじかせ」とします。
その心は? 「壊」が多い、みたいな、

「同じ音を繰り返す」
よくあるよね? 「あお? 戻った?」とか!

「吃音」とかかまして「視力が落ちてメガネ屋に行ったとき」とかかります。
その心は? 「メガネ」の度盛る

お礼
くださねな!

うん。
もっと上手な人に作ってもらいたいよね。

↑スペースが足りないとき、体を省略してこう描きます。決して手抜きなどでは

大矢 桂(横浜市ことばの教室教諭)

Yさんのマンガ送っていただきありがとうございました。とても楽しく読ませていただきました。

グループ学習の参加のお願いをしたところ快諾してくれ、もう一人別の中学校に通っている生徒と二人でみんなの質問に答えてくれました。通級している子供達にとってはとても貴重な機会でみんな目をキラキラさせて、先輩の話を聞いていました。吃音やグループ学習の思いなどYさんの気持ちが表れていてとても素敵なマンガでした。また機会がありましたら、ぜひ読ませていただけるとありがたいです。

**中野 文子(元青梅市河辺小教諭、スタッフ中軍友希恩師)**

佐藤隆治さんとの出会いから、今回の“つどい”のリーダスタッフとして活動している中軍君の近況を知り、会いたさ一杯の思いで、行かせていただきました。”つどい”の中で、話し合ったり、プレイをしたり、お料理をしたりと、その子その子なりに楽しんでいる子供達の姿を目にし、もう何年も前になりますが、中軍君がことばの教室に通級していた頃の姿が思い起こされました。六年間の様々な活動を通して成長していこうとしていた姿とも重なり合い、往時が懐かしく思われました。

その一方、“つどい”の中で、リーダとして活躍し、4月からは、社会人として、また違った世界に出発していこうとしている中軍君に誇らしさも感じていました。

中学、高校、大学と進んでいく中で、自分の吃音と向き合い、付き合いながら、他者を信頼する力を養い、自分の持てる力をもって周りに働きかけ、貢献していく。その中で、また一段と成長していくということを繰り返してきたのではないかという事を、“つどい”の中でその姿を見て、思いました。それと、同時に、そのように成長していくことができるようにされたご両親のお力添えも思われました。

今回は残念ながら、中軍君とゆっくり話すことはできませんでしたが、私は仕事を離れて2年近く、家族の健康を気遣う日々の中で、子供達や中軍君初めスタッフの方々から、久しぶりに清々しい気持ちと力づけをいただきました。本当にありがとうございました。また、何かの会に、お誘いください。

板橋ことばの教室小3年女子のお母さん 作

**会計報告&後記**

♥麻婆豆腐丼の中の豆腐おいしかったでしょ？折角なので良い値の物買いました。餃子の餡も全て前の晩のスタッフの手仕事(愛情)によるものです。

♠ドモラーマを、向こうに追いやろうとすればするほど、逆にこちらに、嫌な形で来ちゃいます。逆襲のような形で。でも、そんなドモラーマは、実は我々にとってかけがいの無いものなのかもしれません…。

代表 佐藤 隆治

項目	収入	支出	残高
参加費(小学生)500円×22人	¥11,000		
参加費(中学生以上)900円×68人	¥61,200		
参加費(弁当持参スタッフ)200円×30人	¥6,000		
案内状発送費(180家族)		¥15,006	
発送用封筒代		¥2,376	
傷害保険(130名分)		¥6,500	
ｺｰﾃﾞﾚｰｼｮﾝ、勉強会資料等)		¥1,955	
試作会食材費		¥12,309	
お料理教室食材費		¥37,409	
合計	¥78,200	¥75,555	¥2,645